

オーストラリア夏期英語研修報告書

都市教養学部 理工学系 4年

● 研修先での学習について

オーストラリアでの授業は、ネイティブの先生がとても親身にお教えてくださいます。授業時間は平日の朝8時30分から13時頃までの約4時間です。私のクラスは中国人4人、首都大学東京の学生4人、タイ人1人、コロンビア人1人の計10人で構成されたクラスでした。授業内容は、実際のシーンに即した適切な文法の使い分けと、ディスカッションが中心でした。そのなかで私が特に印象に残っているのは、**writing test** についてです。練習時も含め、自身が作製した文章を細かいところまで添削していただきました。それによって普段何気なく使っていた表現の誤りや、より相手に伝わる表現方法を学ぶことができました。授業のレベルは週を追うごとに上がっていくので予習復習はきちんとしていく必要があると感じました。

● 現地の様子や生活について

オーストラリアは水が貴重なので家庭によってはシャワーの時間に制限を設けているところもありました。自分が滞在した家庭には特に制限はありませんでしたが、ある友達の家庭は5分間というところもありました。また、昼夜の寒暖差がとても大きく、日によっては最高気温 26℃、最低気温 6℃という日もありました。冬用の上着は一枚必ず持って行ったほうが良いと思います。

● 自由時間の過ごし方について

自由時間は、首都大学東京の友達と現地でできた友人と一緒にシドニーの観光に行っていました。マンリービーチやボンダイビーチ、美術館や観光名所が集まるロックス・サーキュラーキー、古着屋が軒を連ねる若者の街ニュータウンや、BBQ やカラオケ、ボーリングなど、毎日現地の学生とともに楽しい時間を過ごしていました。

● 最後に

一か月という留学期間はとても短いですが、留学を経験してみたいという学生にとって、とても有意義なものになると思います。また、現地の学生と仲良くなる機会が用意されているので、海外に友人を作りたいと考えている方にはとてもよい研修だと思います。

